

特別活動（学級活動）学習指導案

指導学年：小学校 第5学年

指導者：担任教諭（T1）

栄養教諭（T2）

1 題材名 「食事のマナーの大切さを考えよう」

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領特別活動の学級活動（2）エ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」を受けて設定したものである。

気持ち良く食事をするためには、食事のマナーを守ることが大切である。家族や友達との食事は、ただ栄養を補給するためのものだけではなく、楽しい雰囲気ですることによって、食べ物のおいしさをより一層味わうことができる。そして、人と人をつなぐ心への栄養としても深く関わり、よりよい人間関係の形成につながる。近年、家族形態が多様化し、共食の機会が少なくなっている中、これから社会の一員として生活していくために、日々の給食時間だけでなく、集団での他の食事機会においても、正しい食事のマナーを意識させることは重要である。

ここでは、児童が楽しみにしている野外活動のバイキングを取り上げることで、食器の使い方や食事のときの話題選びなどの食事のマナーを身に付けることは、楽しい共食につながることや、一緒に食事をするを通してコミュニケーションを図り、心豊かにすることが大切であることを理解し、実践しようとする態度を育てることができると思う。

(2) 児童観

食に関するアンケートの結果では、「楽しい食事には、食事のマナーが大切だと思います。」という問いに肯定的な回答をした児童は約 74%であった。一方、「マナーを考え、気持ちよく食事することができます。」という問いに肯定的な回答をした児童は約 60%であった。

このことから、食事のマナーが大切であることは理解しつつも、日々の食事での実践につながっておらず、そのことを児童もある程度は自覚している傾向にあると推察できる。

(3) 指導観

食事を通してよりよい人間関係を形成していくために、食事のマナーについて具体的に考え、交流し、食事のマナーを身に付けることの大切さを理解させることが必要であるとする。また、野外活動の実施前に、模擬バイキングの体験から、周り人の気持ちを考えた行動の大切さに気づき、自分だけでなく学級全体が気持ちよく食事をするができるように、自ら進んで食事のマナーを身に付け、実践しようとする態度を育てたい。

指導にあたっては、「つかむ」「さぐる」「見付ける」「決める」の段階を追って学習を展開し、まず、自分の問題は、みんなにも共通する問題であることに気付かせ、どうしてそうなるのか、話し合い活動で、原因や解決策を考えるを通して、自分はどうしていくのか意思決定を行わせるようにしたい。

3 学級活動（2）で育成を目指す資質・能力

- 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。
- 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。

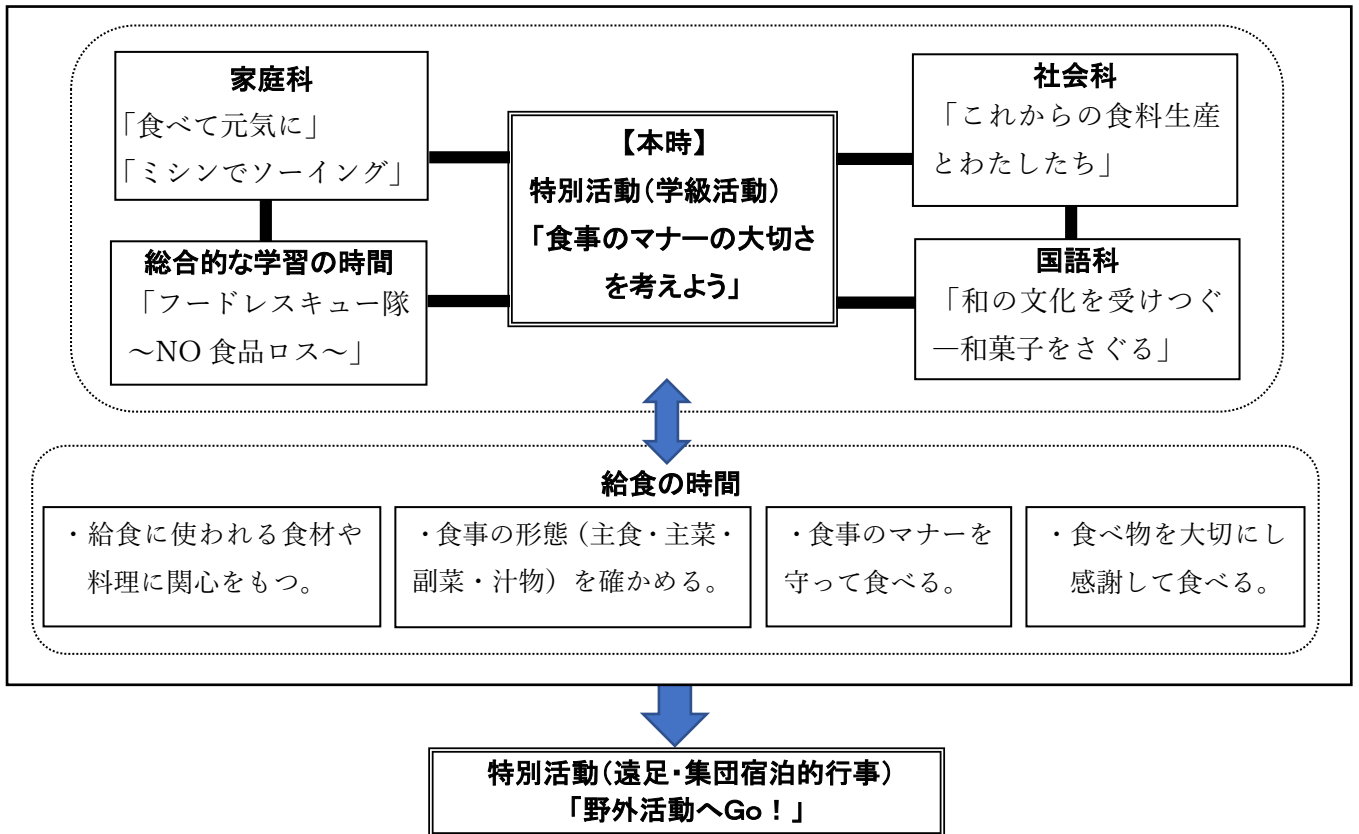
4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合っってよりよい人間関係を形成しようとしている。

5 指導計画

	主な学習活動	指導上の留意点
事前	○食に関するアンケート実施	○食事に関する実態を把握する。
本時	○みんなで気持ちよく会食するためには、どのようなことが必要なのかを考える。	○バイキングの疑似体験や日々の給食時間の動画から、自らの食事のマナーを振り返り、課題意識を持たせる。 ○食事は楽しいだけでなく、話題選びなどの相手を思いやる食事のマナーを身に付けることの大切さを理解し、気持ちよく会食できる方法を多様な考えを基に意思決定し、実践しようとする。
事後	○野外活動での実践 ○実践の振り返りの記入 ○食育通信の発行 ○給食の時間の指導 ○食に関するアンケート実施	○児童への継続的な声掛けや家庭への働き掛けを行う。 ○目標達成に向けて努力している状況を確認し、肯定的な評価を行う。

□他教科や学校給食との関連



6 本時の目標

食事のマナーを身に付けることの大切さを理解し、気持ちよく会食できる方法を多様な考えを基に意思決定し、実践することができる。

7 食育の視点

○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。(社会性)

8 準備物

タブレット、給食時間の様子の動画・写真、料理カード、ホワイトボード、ワークシート

9 本時の展開

	学習活動 ・予想される児童の反応(行動・発言等)	◇指導上の留意点 ◆支援を要する児童(生徒)への手立て		目指す児童の姿 【観点】 (評価方法)
		T 1	T 2	
導入 つかむ	<p>1 タブレットでバイキングの疑似体験をして、選んだメニューと理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものを選びたいな。 ・お腹いっぱい食べたいな。 <p>2 自分が選んだ料理が、3種類の選択例のどれに似ているかを考える。</p>	<p>◇タブレットの操作手順を説明する。</p>	<p>◇野外活動での食事がバイキング形式であることを知らせる。</p> <p>◇3種類の選択例を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 主菜が多く、野菜が少ない。 ② 野菜が多く、主菜が少ない。 ③ 主食、主菜、副菜のバランスがよい。 <p>◇主食3：主菜1：副菜2の比率が良いことを伝え、見た目がよい盛り付け方にも気付かせる。</p>	
	<p>3 自分たちの給食時間の様子から課題を見付け、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の量で、最後の人までおかずがあるのかな。 ・順番に並んでいない。 ・ふざけながら食べている。 ・姿勢がよくない。 ・野菜がたくさん残っている。 	<p>◇給食時間の配膳からあと片付けまでの様子を撮影した動画を提示する。</p> <p>◇食事のマナーのよくない点に注目できるよう助言する。</p>		

	4 本時のめあてを確認する。			
	めあて:みんなで気持ちよく会食するためには、どのようなことが必要なのだろう。			
展開	5 みんなで食事をするとき、不快な思いをした体験を出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・トレーを運んでいるときに、ぶつかられそうになった。 ・食事中にふさわしくないことを話題にされた。 ・口の中に食べ物が入ったままで話し掛けられた。 	◇給食時間や外食での体験を想起させる。		
	6 野外活動で、みんなで気持ちよく会食するために必要なことを話し合う、 <ul style="list-style-type: none"> ・焦らず順番に並んでとる。 ・好きなものばかり選ばないようにする。 ・食べられる量だけをとる。 ・1日を振り返ったり、次の日の予定を確認したりして、楽しく会話する。 ・箸や食器の持ち方に気を付ける。 ・よい姿勢で食べる ・後片付けもきれいにを行う。 	◇食事のマナーは、何のために、誰のために必要なのかについて、個人の考えをもたせた後、ペアで交流させ、全体に発表させる。	◇用意されている全員分の料理の量や食品ロス削減と関連付けて考えられるようにするとともに、料理をとるとき、食べるとき、片付けるときの各場面を想定させる。 ◆ 食事を共にする人の立場になって考えることができるよう助言する。	
終末	7 学習をふり返り、野外活動のバイキングで実践したいことを意思決定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実践したいことを発表する。 	◇料理をとるとき、食べるとき、片付けるときの各場面の実践したいことが発表されるよう、意図的に指名する。	◇児童の発表に対して、肯定的評価を行い、実践しようとする意欲を高める。	○食事のマナーについて課題を見だし、多様な意見を基に、これからの自分の食生活の改善のための方法について考え、意思決定し、実践しようとしている。【思考・判断・表現】(発言、ワークシート)
決める	児童のまとめ例 <ul style="list-style-type: none"> ・料理をとるときは、周りの様子を確認しながらきちんと並んで、主食、主菜、副菜のバランスを考えて、きれいに盛り付けたいと思います。 ・食事中は、その日の活動でよかったことや次に頑張りたいことなどを話しながら、楽しく食事をしたいと思います。 ・とった料理を残さず食べて、椅子の片付けやテーブルを拭くこと、食器を片付けることなど、ルールを守って行動したいと思います。 			

10 板書計画

めあて：みんなで気持ちよく会食するためには，どのようなことが必要なのだろう。

①

②

③

選んだ理由

給食時間の様子の気付き



気持ちよく会食
するためには

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

食事のマナー
自分のため
みんなのため

野外活動のバイキングで
実践したいこと

【料理をとるとき】

【食べるとき】

【片付けるとき】